

《Japan Tariff Association》

関税 メールプレス

(No. 516) 2018. 6. 19 発行元：日本関税協会 長崎支部

TEL:095-825-0557 Fax:095-825-1748 <http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

平成30年度定時支部総会等を開催しました

6月15日(金)、長崎市の「ザ・ホテル長崎」で平成30年度定時幹事会・支部総会・講演会が開催されました。

定時幹事会では、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・予算案及び役員改選についての審議が行われ、満場一致で原案どおり承認されました。

[定時幹事での会審議の様子]



引き続き開催された総会では、本部から松本 調査研究部長をお迎えし、各地区から約130名の会員の皆様にご出席いただきました。

冒頭、宮脇支部長から、「長崎税関四空港へLCCの新規就航や増便され利便性が増すなか、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録される見込みとなり、支部管内の活性化が期待されるとともに関税協会が果たす役割は益々高くなっている。」旨の挨拶がありました。



[宮脇支部長の開催挨拶]



[沢山の方に出席いただいた支部総会]

その後の講演会は、元長崎税関長で(公財)日本産業廃棄物処理振興センター理事長 関 荘一郎氏を講師にお迎えし、「気候変動問題の動向～環境に配慮する企業は繁栄する～」と題して講演をいただきました。

世界が直面する危機問題の中でも特に「気候変動問題への取り組みや経済環境の将来」について、環境省等での豊富な経験を踏まえ分かりやすい解説をしていただき、会場を埋め尽くした会員の皆様は熱心に聴講されました。



[関 氏による講演会]

長崎税関幹部の方々にもご出席いただいた懇談会は、福田税関長のご挨拶で始まり、終始和やかな雰囲気の中会員相互の懇親が深められ、三菱造船(株)調達センター長 小佐古氏の中締めで盛会のうちに幕を閉じました。